

今までと違う景色で、ひと仕事 (2021WLBキャッチフレーズ
グランプリ作品)

仕事と生活の バランス

vol.58

Autumn

公益財団法人兵庫県勤労福祉協会
ひょうご仕事と生活センター



| CONTENTS |

特集 | ワーケーション。海へ、山へ、温泉へ

4 | わが社のWLBな人 6 | センターからのお知らせ 7 | 県政トピックス
8 | Information

ワーケーション。海へ、山へ、温泉へ

ワーケーションの類型は、休暇を主体とする「休暇型」と仕事を主体とする「業務型」の二つに大きく分類されます。「業務型」は、さらに「地域課題解決型」、「合宿型」、「サテライトオフィス型」の三つに分類されます(下図参照)。今回のワーケーション特集では、この三つの「業務型」にそれぞれ取り組む県下の自治体やワーケーション施設、企業の事例を紹介します。

休暇型	福利厚生型	リゾート地や観光地等で休暇を楽しみながらテレワークを行うもので、企業が有給休暇の取得促進など、福利厚生を目的に行っている場合が多い
業務型	地域課題解決型	地域の関係者との交流を通じて、地域課題の解決策を共に考えるもので、企業の社会貢献やSDGsへの取組が求められている昨今、注目されている
	合宿型	リゾート地など通常の業務環境とは異なる所で会議や研修等を行うもので、新しいアイデアの創出やチームワークの構築に活用される
	サテライトオフィス型	企業がリゾート地などに設置するサテライトオフィスや一般的なシェアオフィスを利用してテレワークを行うもので、企業間の情報交流に活用される例もある

事例 1

「地域課題解決型」に取り組む自治体

新温泉町（湯村温泉）

■新温泉町版「課題解決型ワーケーション」の始まり

兵庫県の最北西部に位置する新温泉町は、北は日本海、西は鳥取県境に接し、内陸部は1,000メートル級の山々に囲まれています。また、2010年10月に世界ジオパーク加盟が認定された山陰海岸ジオパークの中央部に位置し、今から約1,200年前に慈覚大師により開湯されたと伝えられている湯村温泉をはじめ、浜坂温泉、七釜温泉などの温泉を有しており、『海・山・温泉』を包含する豊かな自然に恵まれた地域です。しかし、近年、少子高齢化が進み、生産年齢人口の減少により、深刻な働き手不足が生じています。このため、同町では、地域課題の解決を共に考え、共に行動していただける企業を求めて、2019年にワーケーションの取組を始めました。

■ワーケーション施設の整備

「荒湯(※)近くの空き店舗に再び灯りをともしたい」との住民の願いを実現するため、店舗運営を担う人材として地域おこし協力隊員を募り、国の地方創生テレワーク交付金などを活用して、荒湯を見下ろす空き店舗の2階に「Cafe98℃」を2021年4月にオープン。このカフェは、湯村温泉の旅館街に泊まる人が、気軽にテレワークのできるスペースを提供しています。



荒湯を見下ろすCafe98℃

また、市町合併前の温泉町時代にカナダとの交流をきっかけとして、カナダから原木を取り寄せて建設した「ログハウス・カナダ」をリニューアル。6棟あるログハウス(宿泊定員最大42人)には、寝室、リビング、キッチン等を備え、お風呂には、湯村温泉のお湯を引くという力の入れよう。大自然の中での長期のワーケーションにぴったりの施設です。

※「荒湯」は湯村温泉の源泉で、98℃の熱湯が湧出しています

■ワーケーションモニターツアーの開催

2020年、兵庫県の協力を得て、東京圏からさまざまなスキルを持つワーカーを招き、地域の豊かな自然や農水産物等を体験してもらうツアーを開催。結果、郷土食のECサイトの構築やワカメの加工品の開発などに結び付けました。



ログハウス・カナダの内部

新温泉町のワーケーション事業を立ち上げ時から担当する商工観光課課長の福井崇弘さんは、「地域課題の解決のために、共に考え、共に行動していただける企業を求めています。新温泉町の豊かな自然と農水産物等を活用した事業などに一緒に取り組んでみませんか」と呼びかけています。

問い合わせ先／新温泉町商工観光課 TEL 0796-82-5625

■廃校を活用した絶好のロケーション

アグリミュージアムNADAは、淡路島の最南端にある廃校になった南あわじ市立灘小学校をリノベーションしたものです。廃材となった淡路瓦を外構工事やインテリアに応用するなど、環境再生事業を主業とする株式会社エコリカルが運営しています。「教室の前に広がる海と沼島が一望できるこの景色にほれ込みました」と語る代表取締役の菊川健一さん。地元淡路の地域振興、観光振興に役立てればと、廃校となった校舎の整備を決断したそうです。

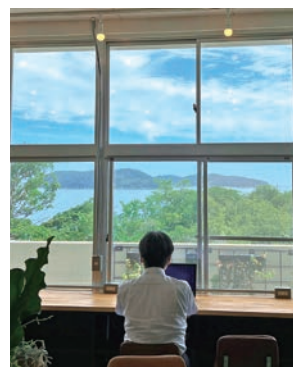
まず、2016年に温室を校庭に建設し、トマト栽培を手がけることから始め、2019年に教室を宿泊施設(定員30人)に改修。その後、キッチン、コワーキングスペース等に順次改修し、校舎屋上にはキャンプサイトも整備。「農業・美食・体験」をテーマに、交流や研修の場として活用されています。



旧校門に立つ菊川さん

■さまざまな体験メニューの提供

同施設では、校舎・校庭での体験のほか、南に広がる海での釣り体験やSUP体験、北にそびえる諭鶴羽山でのトレッキング体験など、18の体験メニューを用意。国生み伝説が残る沼島の探索や近隣施設をサイクリングで訪問するなど、活動内容は広範囲に及んでいます。「新しい体験は、きっと新しいアイデアを生み出します。チームビルディングの研修にもうってつけ。現在も大阪や県内の企業から研修の予約が入っています」と菊川さん。ワーケーション拠点としてますます活用が期待されています。



絶景のコワーキングスペース

体験・宿泊予約／アグリミュージアムNADA
TEL070-9012-1349

■IT企業に力を注ぐ沖縄に進出

1981年に創業し、高砂を拠点に原動機やプラントの設計、システム開発などを行う同社。「企業の成長には人の育成が不可欠で、そのためには時には環境を変えて社外の人と交流し、見聞を広めることが必要」という考えの下、2019年、那覇市にサテライトオフィスを開設。沖縄本島や宮古島に設けられた6カ所のコワーキングスペースを使える環境を整備しています。

代表取締役社長の後藤純次さんは、「沖縄はIT産業に関心が高いことから台湾やベトナムといったアジアの国々から優秀な起業家が集まっており、さまざまな人的交流により刺激を受けることができます」と魅力を語ります。

ところが、1年もたたないうちにコロナ禍に。それまで

は後藤さんと数人の社員が月に一度、2泊3日程度で数回利用し、コワーキングスペースで異業種の人と多くの情報を交換して実りの多い時間が過ごせたといいます。



異業種の人材と交流できる
コワーキングスペース

■柔軟な働き方と幅広い活用を検討

また、「せっかく沖縄に行ったからには、仕事を早めに切り上げ、リフレッシュできるように」と、現在、月単位の変形労働時間制の導入に向けて準備を進めています。「デザイン業務や採用の担当者は、オフの時間がきっかけとなって新しいアイデアが生まれたそうで、これもワーケーションのメリットの一つだと感じています」と後藤さん。



「時には働く環境を変える
ことが重要」と後藤さん

今後サテライトオフィスを利用できる業務領域を拡張し、より多様な社員がグループ活動の一環や社員研修、社員旅行として活用することで、社内外から刺激を受け、イノベーションオフィスへと展開できるよう取り組んでいます。

宿泊費や交通費については、働く環境や人への投資の観点から、会社が負担するのを前提に長期的な費用対効果を見込める形を構想しています。「継続しないと成果は出ないので、会社にとっても社員にとっても無理のない形を探りたい」と、後藤さんは話されています。

わが社のWLBな人

WORK LIFE BALANCE



ひょうご仕事と生活センターでは、オリジナルキャラクター「WLB7」のテーマに沿ってワーク・ライフ・バランス(WLB)を進める方々をFacebookで取り上げています。今回は、今年3月～7月に掲載した6人を紹介します。



子育て

【2020年度認定企業】

医療法人社団はるき小児・矯正・歯科(明石市)

横山さん

歯科受付として働く横山さんは働きやすい職場と実感し、仕事と子育ての両立に理解のある院長や仲間に感謝しています。両立ができるようさまざまな工夫をし、「休日には思いっきり子どもと遊んでたくさん“愛”をチャージしています」と笑顔で話します。「両立で大切なことは何ですか?」との問いには、「夫婦でたくさん話し合っ、助け合うことです。家族のために笑顔が消えないよう無理は絶対にせず、周りに助けてもらって相談することだと思います」とのこと。笑顔を絶やさないために、家族や職場仲間からもサポートを受け、仕事と育児の両立を無理なくこなす、すてきな笑顔の横山さんです。

〈2022年3月〉



介護

【2019年度認定企業】

株式会社大栄螺旋工業(西脇市)

祓川さん

祓川さんは60歳の定年を迎えて再雇用で働き続けていましたが、同時期に奥さまの難病が発覚。その後10年間、奥さまの介護と一時期お母さまのダブル介護をされながらも働き続けています。「人には話せないようなつらいこともあるけれども、仕事をするのがストレス発散の一つ」と話します。今は時短勤務で介護・家事・仕事を頑張る祓川さんですが、仕事で培ったタイムマネジメントがとても役に立っているそうです。「社長がWLBに熱心に取り組んでくださる方で本当によかった。だから働き続けられる。ありがたい」と話す柔和な目の奥に、迷いのない生きる姿勢を感じました。

〈2022年3月〉



キーパーソン

【2021年度認定企業】

株式会社グリーンテック尼崎営業所(尼崎市)

甲斐さん、中西さん

課長、係長といった中間管理職が存在しない尼崎営業所では、「職長」の甲斐さんが大きな役割を果たしています。社員有志で結成したWLB推進委員会の運営も担当してきました。ただ、1人ではさすがに手いっぱい。職長の右腕になってくれるリーダークラス社員の育成にも力を入れています。その筆頭的な存在が、WLB推進委員会の新委員長に任命された中西さん。職場環境づくりもどんどん任せていきたいと、甲斐さんは考えています。キーパーソンは1人だけと決まったものではありません。この2人のパートナーシップが、営業所の明るい将来を切り開いていきます。(写真左が甲斐さん、右が中西さん)

〈2022年4月〉



ワーク・ライフ・バランスを推進する7人の社員

ペンギン	子育て	夫婦共働きで協力しながら子育て。明るいキャラでムードメーカー。
さる	介護	親の介護を行いながら職務に励む。チームがうまく回るように気配り。
くま	在宅勤務	テレワークを利用して在宅勤務。やさしい性格でチームの母親的存在。
ライオン	キーパーソン	社内におけるWLBの旗振り役。皆からの信頼も厚いリーダー的存在。
みつばち	女性活躍	毎日、元気に飛び回る。女性社員のリーダーで初の女性役員候補。
ぞう	再雇用	再雇用制度を利用するベテラン。若手社員への技能継承に力を入れる。
カエル	フレックスタイム	フレックスタイムを利用。地元の合唱団に参加し地域活動にも貢献。



最新情報は
こちらから

※投稿日順に掲載しています

【2021年度認定企業】

社会福祉法人しらさぎ福祉会（姫路市）

小山田さん

機械保守の仕事に携わっていた小山田さんは、66歳の時、同会に入職しました。当初は「ケアパートナー」の仕事でしたが、上司からの勧めもあり、介護職員初任者研修、その後は実務者研修も修了。研修で学んだ介護のやり方や利用者の気持ちなどの知識が日々生かされているという実感もあり、69歳になる時には、国家試験である「介護福祉士」に挑戦・合格しました。勤務はご本人の希望で週3～4日14時から19時まで。子育て世代職員が退勤する時間帯となるので、職場としてもとても助かっているとのことでした。「体と相談しながら、できるだけ長く働きたいです」と話す小山田さんです。

〈2022年5月〉



【2010年度表彰企業】

生活協同組合コープこうべ（神戸市）

中田さん

中田さんはこの4月、「お父さん」になりました。里帰り出産をしていたパートナーが自宅に帰った6月に1週間連休を取り、新生活を軌道に乗せるため全力を注ぎました。同組合は、祝日休がない代わり半期に1回、好きな時に1週間程度の連休が取れます。変形労働時間制も採用しており、裁量のある部署を中心に労働時間を柔軟に調整する働き方が当たり前になっています。「変形労働時間制や有休・連休も個人の裁量で自由に取っていいという雰囲気職場にあり、家族との時間を大切にしたい働き方をこれからも続けたいです」と中田さん。育休だけが両立の解決策でないことを教えてもらいました。

〈2022年6月〉



【2021年度認定企業】

株式会社ハヤブサ（三木市）

小山さん

現在67歳の小山さんは2000年に中途採用で入社。以来、社内システムの開発・導入を仕事とし、ウェブや販売管理などの基幹システム開発や、自動倉庫導入などに携わってきました。入社当時の外注先システム会社とは合わず苦労しましたが、当時の社長の理解もあり、現在の会社とシステムを再構築。今は後任にバトンタッチしています。「当時の社長が前の会社を断ってくれたおかげで事が進んだ。絶対に社長を困らせたくないとの思いでした。結果的にはシステム関係の技術も知識も高まり、自信にもつながりました」とのこと。「周りへの感謝とリフレッシュが長く勤める秘訣」と話す小山さんです。

〈2022年7月〉



ワーク・ライフ・バランスの地域セミナー・全県フェスタを開催

ひょうご仕事と生活センターでは、県民や企業の皆さんにワーク・ライフ・バランス（WLB）について理解いただくため、関係機関と共同で“旬”のテーマを掲げた講演会などを開催します。

参加
無料



神戸

10月4日(火)14:00～16:30

地域セミナー ～Z世代の価値観や本音を理解しよう～



【会場】兵庫県民会館11階 パルテホール 【定員】先着100人

【講師】株式会社ループス・コミュニケーションズCEO 斉藤 徹氏
ソーシャルメディアのビジネス活用に関するコンサルティング事業を幅広く展開。Z世代の学生とともに、革新的な学生組織を立ち上げ、2017年には「株式会社dot」を設立し事業化

【事例発表】株式会社フェリシモ(2011年度表彰企業)



詳細は
こちらから

姫路

10月28日(金)14:00～15:30

地域セミナー ～ジェンダー平等と女性のエンパワーメント～



【会場】姫路商工会議所新館2階 201号室 【定員】先着50人※オンライン参加可

【講師】大阪芸術大学客員准教授 谷口真由美氏
専門分野は、国際人権法、ジェンダー法、日本国憲法など。大阪大学での楽しく工夫された講義は名物となり、大阪大学共通教育賞を4度受賞。また、新聞、テレビ、ラジオのコメンテーターとしても活躍中



詳細は
こちらから

阪神

11月14日(月)14:00～16:00

地域セミナー ～ワーク・ライフ・バランスを通じた生産性向上～



【会場】尼崎商工会議所 701会議室 【定員】先着100人

【講師】関西大学総合情報学部教授 古賀広志氏
地域デザイン学会理事長代理、日本情報経営学会副会長も務める。共編著に『地域デザインモデルの研究』(学文社)、『地域と人を活かすテレワーク』(同友館)、共著に『現代経営情報論』(有斐閣アルマ)など



詳細は
こちらから

全県

11月22日(火)13:00～15:30

ワーク・ライフ・バランスフェスタ



【会場】兵庫県公館 大会議室 【定員】先着300人

①表彰式・修了式

- ・ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰式
- ・ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ表彰式
- ・キーパーソン養成講座修了式

②特別講演

「ノーノーマル時代のワーク・ライフ・バランスとは」

【講師】株式会社ライブニッツ代表 山口 周氏

電通、ボストン・コンサルティング・グループなどで戦略策定、文化政策、組織開発等に従事。著書に『ビジネスの未来』『ニュータイプの時代』『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか?』『武器になる哲学』など



詳細は
こちらから



安心・安定の福利厚生制度 “ひょうごファミリーパック”のご案内

兵庫県では、中小企業を対象とした地域密着型の福利厚生制度“ひょうごファミリーパック”を提供しています。ニーズの高い「健康」「福利厚生」「給付」「融資」の4分野を全てカバーし、1社単独では導入困難な大企業並みの福利厚生を代行し、元気な職場を応援します。

法人企業だけでなく、小売商等の個人事業所、医療・福祉施設、各種団体もご加入いただけます。ぜひご活用ください。

中小企業経営者の皆様へ



……経営者の方にも社員さんにも嬉しいメニューが！……

- インフルエンザ予防接種補助(最大3,000円/人) **配偶者も!**
- 人間ドック補助(最大20,000円/人) **配偶者も!**
- パート・アルバイトさんの会費1/2を助成(3年間 最大9,000円/人)
- 勤続報奨金など12種類の給付金を支給
- 提携施設で使える利用券24,500円分
(内、食事券等最大6,000円)

ひょうごファミリーパック

(公財) 兵庫県勤労福祉協会 共済部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28
TEL078-351-6786 FAX078-341-1520



「働き方応援カフェ(出前講座)」の開催企業募集

兵庫県では、男性の育休促進や多様な働き方に向けた企業の取組を後押しするため、各企業の課題やニーズに合わせたオーダーメイドの研修を実施しています。県からご希望に添った講師を無料で派遣しますので、ぜひご相談ください。

- 対象 県内の企業または団体
※申込数が予定数(10カ所)に達し次第、募集終了
- 実施方法 オンライン研修または対面研修を選択
- 実施時期 2023年3月末まで



問い合わせ先/兵庫県男女青少年課 TEL078-362-4185

父親の子育て参画推進事業

検索

中小企業のための ひょうご産業SDGs推進宣言事業を募集します

本事業は、SDGsの達成に向けて取り組む県内中小企業等の宣言内容を登録・集約し、広く社会に公表することにより、企業等の取組を支援します。

【登録企業のメリット】

- ・登録証が交付されます
- ・ひょうご産業活性化センターのホームページで登録企業を紹介します
- ・専用ロゴマークを使用できます
- ・SDGsの推進に関して、専門家派遣による経営支援を受けることができます（2分の1負担、最多8回まで）
- ・兵庫県信用保証協会の保証料率の割引があります

【登録期間】

登録日から2025年3月末日まで

【申請期間】

第2回募集は10月中旬ごろ、第3回募集は2023年1月中旬ごろに行う予定です
※第1回申請期間は終了しました。143件もの申請をいただきありがとうございました

【問い合わせ先】

公益財団法人ひょうご産業活性化センター
経営推進部 成長支援課

TEL 078-977-9117

FAX 078-977-9119

E-Mail sdgs@staff.hyogo-iic.ne.jp

要件等詳細は
こちらから



センターの主な事業

ワンストップ相談

ワーク・ライフ・バランスに関する相談や質問を受け付けています。
(面談、電話、メールで対応)

コーディネーター、コンサルタントの派遣

コーディネーターやコンサルタントが企業を訪問し、ワーク・ライフ・バランス推進に必要な専門家の派遣など最適なサポートを提案します。

研修・実践支援の実施

相談に応じて、ワーク・ライフ・バランス実現に向けた研修や担当者への実践的なアドバイスを実施します。

テレワークサポートセンター

テレワーク導入などに向けたインフラの構築や運用について、相談に応じます。

中小企業従業員意識調査

従業員の今の職場についての意識をアンケートにより数値化し、優先的に取り組むべき課題などを把握することができます。

企業助成

ワーク・ライフ・バランスの推進を支援するための各種助成金を用意しています。

公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会

ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階

TEL 078-381-5277 FAX 078-381-5288 E-mail info@hyogo-wlb.jp

開館 月～金曜 9:00～17:00(祝休日、年末・年始を除く)

阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-68

尼崎市中小企業センタービル6階

TEL 06-6481-1888

姫路事務所

〒670-0947 姫路市北条1-98

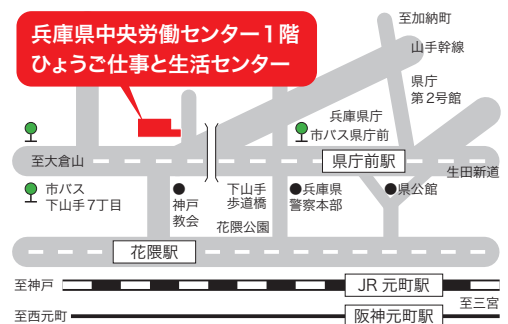
兵庫県立姫路労働会館1階

TEL 079-288-2603

携帯、
タブレットから
アクセス
できます。



兵庫県中央労働センター1階 ひょうご仕事と生活センター



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅西出口③から西へ徒歩7分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅東口から北へ徒歩9分
- JR「元町」駅西口から北西へ徒歩12分
- 阪神電鉄「元町」駅西口から北西へ徒歩14分

(2022年9月発行)

<https://www.hyogo-wlb.jp/>

ひょうご仕事と生活センター

検索